※令和４年度以降入学生用

学校番号	3008

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　公共　（教育図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の諸問題についての基本的な知識を身に着ける。
・現代の諸問題に対し、資料から情報を選択し、多面的・多角的に考察する。
・対話を通して、他者の考え方も受け入れ、合意形成を目指す。

２　学習の到達目標

［知識・技能］
学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につける。
［思考・判断・表現］
諸課題に対する見方、考え方は様々であり、多面的であることを理解し、その中で生徒が自分で考え、対話を通じて合意形成を目指す公共的存在としての能力を身につける。
［主体的に学習に取り組む態度］
諸課題の解決のために、対話的な授業を通し社会参画者であることを自覚し、主体的に考え、判断する能力を身に着ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸問題を捉え考察し、選択・判断の手がかりとなる概念や理論を理解する。 ・情報を適切・効果的に調べてまとめる技能を身につけている。	・現代の諸問題の解決に向け、手がかりとなる考え方・基礎的原理を活用して、多面的・多角的に考察・公正に判断すること。 ・合意形成・社会参加を視野に入れ、議論する力を身についている。	・現代の諸問題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ・人間としての在り方生き方について自覚を深めている。 ・公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力する大切さの自覚を深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共と人	・人は一人では生きられない ・人はどのようにつながるのか ・自由と正義の実現を目指して ・対話から生まれる公共 ・日本の公共思想	a:公共的空間の主体となり，キャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。 b:社会に参画する自立した主体とは、集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて考察し、表現すること。 c:公共的空間に生きる人間としてのあり方、生き方について自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	観察 ワークシート
	公共と倫理	・功利主義と義務論 ・水俣病を考える ・地球温暖化問題 ・誰が医療を支えるのか	a:現代の諸問題について、他者共に解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解すること。 b:倫理的価値観の判断において、個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、公正などの義務を重視する考え方などを活用し、他者と共に解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方について考察し、表現すること。 c:よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようという意欲が見て取れる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	観察 ワークシート
	公共の基本原理	・生徒会予算をどう分配するか ・意見が分かれたときどう決めるか ・民主政治の歴史 ・憲法の基本原理 ・男女平等について考える ・表現の自由とヘイトスピーチ	a:公共的な空間における基本原理について理解し、公共的な空間を作る上で、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが必要であることを理解すること。 b:公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現すること。 c:よりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追及・解決しようとする意欲が見て取れる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	法	・法と社会 ・契約と消費 ・司法と裁判	a:現実社会の事柄や話題を基に、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解すること。 b:法の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したことを、論拠をもって表現すること。 c:公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	観察 ワークシート
	政治	・政治参加 ・国政と地方自治 ・国家主権と領土問題 ・安全保障 ・国際社会と日本	a:政治参加などの現代社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解すること。 b:政治の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したことを、論拠をもって表現すること。 c:よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようという意欲が見て取れる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	観察 ワークシート
	経済	・職業選択 ・労働問題 ・財政と税 ・社会保障 ・市場経済 ・金融 ・国際経済	a:職業選択、社会保障などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、資源の効率的な配分が図られること、経済などにおける国の役割と活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解すること。 b:経済の側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したことを、論拠をもって表現すること。 c:自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸問題に関わる具体的な主題を設定し、他者と協働して主題を追及・解決する意欲が見て取れる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート ノート提出	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期		・演劇で表現する ・地域社会と共に学ぶ ・バリアフリー社会の実現を目指して ・SDGs実現のために私たちができること	a:各項目の高校の実践例を参考にして、社会課題の調査、表現方法、課題解決に向けた協働の方法などについて学習している b:公共で学習した内容や課題をもとに見方・考え方をはたらかせ、具体的な社会課題を見出し、これを適切に表現している c:他校の事例に刺激を受け、社会参画への意欲を持ちはじめている。	定期考査	発表 定期考査 ノート提出	発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度